



テーマ：私の理想の北斗暮らし

北斗地区ならではの理想の暮らしを考えよう！

【全世代を通じて】

■交通の不便を、地区の団結「助け合いタクシー制度」で解決

特に子どもの送迎で負担がある子育て期や、車を手放すシニア期の不便を解消するためのアイデア。現在のデマンドバスは、目的地から次の目的地に行くときなど不便と感ずることが多い。特に、「買い物」「通院」など、車を運転できなくなった場合を考えると不安。地域での団結力が強い北斗地区ならではの「助け合いタクシー」を制度化して解消したい。現在も、乗り合いでスーパーに買い物に出かける人が数名いる様子だが、やはり事故がおきた場合の保険（保証）等が不安があるので万一の事故対応（保証）の仕組みづくりができれば実現するのでは。また、子どもの送迎（学校帰り・少年団等）も、この仕組みづくりの中に入れることで、子育て世帯の送迎負担が軽減するとともに、地域での交流と団結が強まる。

【子ども期】

■子どもは少なくなったが、子どもが楽しめる資源はある！

昔は学校の校庭に地域でスケートリンクを作ったり、近くの裏山や現在のごみ処理場付近でスキーをするなど身近な自然で遊んでいたりと、地域の神社をお神輿でまわるなどの催しがあって楽しく過ごしていた。今は子どもの数が減って同じことができるわけではないが、自然が身近な環境があるので、一緒に遊ぶ仲間ができる程度の子どもが増えたり、他の地域から遊びに来る機会があれば、工夫して楽しめる環境はある。

■色々な地区から北斗公民館行事に参加してほしい

北斗地区の特色である公民館行事に子どもの頃から参加することによって楽しい思い出や地域の人との関わりによって北斗に愛着を持ってもらう。公民館行事には北斗地区以外の方の参加も大歓迎なので、町全体で北斗地区を盛り上げていけるように。

■昔のように親の目から離れても遊べる環境をつくる

住民センターを活用して子どもの遊び場所を確保したり、走り回ってボールを使っても危なくない場所があると良い。

■放課後も学校内で友達と遊べる環境を

放課後も学校内でそのまま友達と遊べるような場所があると、郊外住まいの子どもにとっては友達と遊ぶ時間が増えて良いのではないか。

【青年期・子育て期】

■市街地の施設もうまく利用して子育てライフを豊かにする

地域に子どもが少なくなっている現状から考えると、地域だけで解決することはなかなか難しく、住宅地にある子育て支援センターなどの施設をうまく利用してもらうように促して、お母さんや子ども同士がつながるように取り組んでいく視点も必要では。

■子どもをきっかけに公民館活動に参加して、将来の地域の担い手に！

農業が地域の核。農業者として働きながら、昔は全町の青年会活動でいかだ作りをしたり、地域のレクスポでの人間ばんばや俵担ぎで盛り上がるなど（ビデオがあるはず）、地域との関わりが暮らしの豊かさを広げた。これからの若い世代の公民館活動との関わりとしては、まずは子どもと一緒に参加者として来て楽しんでもらい、それをきっかけに担い手としての関わりにつなげて、人口が少なくなるなかで地区の活動を支えてほしい。

■細かすぎない子育てができる暮らし

ちょうど良い、時間や費用にゆとりをもった子育てを実現したい。親から離れて子どもが遊べる環境や、かつての3世代4世代同居で子どもを見る目が多かったときのように、地域が代わりとなって子どもを見る環境ができると実現するのでは。

■北鷹栖団地を子育て世代×シニアが混ざり合う住まいへ整備

子育て世代になったことにより愛着ある北斗地区へUターンしてもらえるように、働く場所や住む場所など若者が暮らしやすい環境づくりを行う。住む場所としては北鷹栖団地を、子育て世帯と高齢者世帯が互いに支え合って暮らす場所に整備することで、安心して働ける（住む）環境ができる。

【シニア期】

■農業＋地域のための仕事

農業は「やめろ」と言われるまでずっと続けたい！プラスで、地域の高齢者宅の除雪や周辺環境整備など、地域の困りごとの仕事をするなど、誰かの役に立って地域で過ごしていく。さらに、例えばメロディーホールでの催しや釣りなど、趣味活動も充実させたい。

■畑でつくった野菜をとわ北斗で販売

仕事としての農業としては引退しても、畑を持って野菜づくりに携わる方が多い。地域の未利用地を畑として広げている方もいる。交通の便が良いとわ北斗の売店が地域にあるので、地域で採れる野菜や山菜などをそこで販売できる可能性がある、シニアの社会参加や活躍の場が広がる。

■つながりの強いコミュニティで、子育て世代の手伝いながら生涯活躍する

長年住み続けてきた人が、生涯北斗地区に住みたいと思えるような地域を目指す。どの地域よりも強い地域コミュニティの維持を目指す。子育て世代の手伝い等を行うことにより、生涯にわたり地域で活躍できるようにする。

■公民館を拠点とした介護予防(住民センターの活用)

情報交換・サロン活動・無料で集まれる場・老人会活動・軽い運動がキーワード。新しい公民館もいいけど、清水主事や松原管理人のいる北斗公民館が落ち着くので、その一角にフリーで使える遊び場があると良いのでは。健康な体でいるための仕組みづくりと、人と顔を合わせる生活をする事。

■北鷹栖団地を改修して誰もが入れる北斗地区シェアハウス

住み慣れた場所、見知った仲間で、若者から高齢者まで誰でも入居できる。談話室など集まれる場所をつくる。